

“腫瘍マーカー検査”

☆腫瘍マーカー検査（採血）

採血で、がんの存在によって血液中に増加する物質を調べます。体内に腫瘍ができると、血液や尿に含まれる、たんぱくや酵素、ホルモンなどが急激に増えることがあります。

健康なときにはみられない物質が現れることもあります。

これらの物質を腫瘍マーカーといい、物質の量や種類によって腫瘍の存在を知る手がかりとなります。



★検査対応腫瘍マーカー一覧表

腫瘍マーカー	がんの種類
AFP	肝がん、卵巣がん、精巣がん など
CA19-9	膵臓がん、胆道がん、胃がん、大腸がん などの主に消化器系のがん
CEA	大腸がん、肺がん、卵巣がん、乳がん など
PSA	前立腺がん
CA125	卵巣がん、膵臓がん、胃がん、大腸がん など
CA15-3	乳がん

標準セット AFP + CA19-9 + CEA

男性セット 標準セット + PSA

女性セット 標準セット + CA125 + CA15-3

注意事項

- ・採血で簡単に調べることができそうですが、がんが存在しても数値が必ず上昇するとは限りません。他の検査結果も含めて総合的にみて判定します。

★問い合わせ

詳しくは、077-536-5210 担当 企画情報部 尾松・山本

までお問い合わせ下さい。

※ 当日受付も可能です。